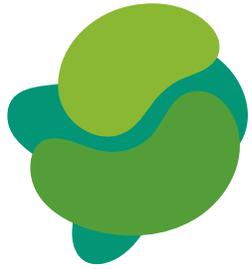


地域日本語教育コーディネーター研修
実践活動報告



地域日本語教育の体制整備に向けた ネットワークの構築

一般社団法人 北海道多文化共生NET
代表理事 五十嵐啓子
igarashi.k@hkdmcnet.com

一般社団法人 北海道多文化共生NET 代表理事

活動：地域外国人の日本語学習支援

日本人住民に対する多文化共生理解の促進

事業：苫小牧市「行政・生活情報誌作成事業」

苫小牧市「国際化推進事業」など

関連：北海道国際交流・協力総合センター連絡協議会

北海道NGOネットワーク協議会

多文化社会専門職機構

北海道地域日本語教育研究会 など

他：災害時外国人支援情報コーディネーター

HIECC多文化共生キーパーソン など

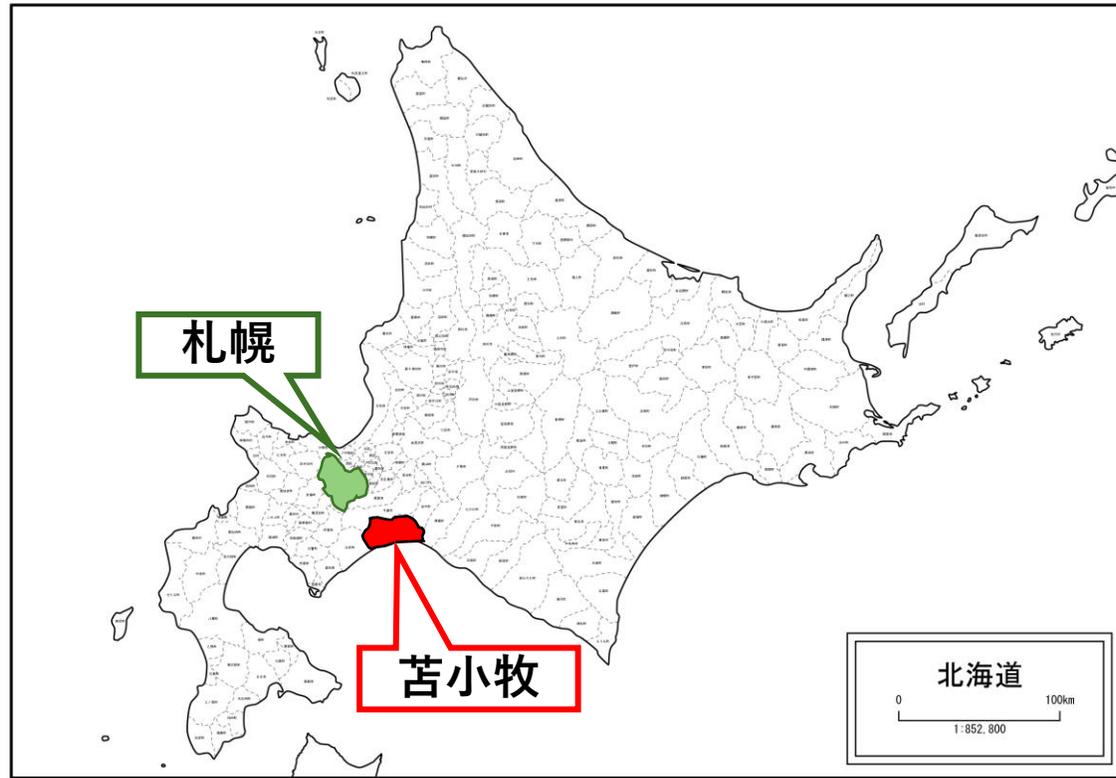


[背景と概要]

苫小牧市

人口：168,299人（2022年12月）

特徴：工業都市（製紙、石油、自動車、メガソーラーなど）



在留外国人 1,019人(人口比率 約0.6%) (中間報告時の2022年9月は972人)

	国 籍	合計
1	ベトナム	293
2	中国	161
3	韓国	104
4	インドネシア	71
5	フィリピン	63
6	ミャンマー	45
7	ネパール	39
8	パキスタン	38
9	モンゴル	37
10	朝鮮	27
	その他	141
	合計	1019

	在留資格	合計
1	技能実習	261
2	特定技能	150
3	永住者	128
4	特別永住者	107
5	技術・人文知識・国際業務	86
6	留学	71
7	家族滞在	62
8	日本人の配偶者等	37
	その他	117
	合計	1019

苫小牧市提供資料より作成

【行政との関わり】

日本語学校設立に携わるため、大学教員から地元企業へ就職
→留学生の受け入れにあたり、地域の実状を確認に行政へ行く

【見えた課題】

- ・ 国際交流協会のような機能を持つ団体がない
- ・ 日本語教育の専門家やコーディネーターがない
- ・ 国際交流から多文化共生推進へと急激に変化

【2022年度から事業を受託】

- ・ 苦小牧市から国際化推進事業を受託した企業より一部を受託
- ・ 多言語版の行政・生活情報誌作成事業を受託
- ・ 2023年度から3年間の国際化推進事業を地元企業とともに受託

2022年度 国際化推進事業 → 今年度から市の事業に関わる

- ・「多文化共生ワークショップ」
- ・「やさしい日本語講座・ワークショップ」
- ・「避難所体験」

2022年度 行政・生活情報誌多言語版作成 → 現在市と協議しながら進行中

- ・英語、中国、ベトナム語、やさしい日本語
- ・外国人雇用企業ヒアリング調査
- ・在住外国人向けアンケート調査

2023～2025年度 国際化推進事業 → 市内企業とのコンソーシアム

- ・外国人向けホームページと各事業を関連付けた取り組み
- ・前年度事業の発展
- ・市民ボランティアの人材育成
- ・その他取り組みについても現在行政と協議中

[背景と概要]

多文化共生推進萌芽期の苦小牧

2022年度 国際化推進事業における実施事業

事業名	実施日	参加者	概要
多文化共生ワークショップ	6月11日（土）	18名 （外国人2名）	1部：講座 2部：ワークショップ
やさしい日本語講座・ ワークショップ	入門編 6月28日（火） 実践編 7月9日（土）	入門編 22名 実践編 22名 （外国人7名）	入門編 1部：講座 2部：ワークショップ 実践編 1部：講座 2部：ワークショップ
避難所体験	8月28日（日）	48名8名 （外国人24名）	1部：講座 2部：ワークショップ 3部：防災グッズ体験 4部：救急隊・消防隊による実演 5部：炊き出し体験・防災グッズの配布

多文化共生ワークショップ

「地域住民とのつながり」

- ・ 市外大学教員による講話
- ・ 在住外国人による困りごとのクイズ
- ・ ワークショップ

- ・ 外国人住民の存在の周知
- ・ 多文化共生に対する理解の促進
- ・ 関心のある人の緩やかなつながり



やさしい日本語ワークショップ

「外国人とのつながり」

- ・ 市外大学教員による講話
- ・ やさしい日本語の基礎知識
- ・ 書き換え練習
- ・ ワークショップ

- ・ 多文化共生に対する理解の促進
- ・ 言語調整に対する意識の醸成
- ・ 外国人との緩やかなつながり



避難所体験

「外国人と日本人の協働活動」

- ・市内小学校で実施
- ・北海道外郭団体による講座
- ・受付体験ワークショップ
- ・消防隊員による実演

- ・防災の日本語と知識の提供
- ・避難所における異文化衝突
- ・住民同士の共助の意識の必要性



[背景と概要]

多文化共生推進萌芽期の苫小牧

- ・市の事業を地元企業より再委託 → 表1の3事業
- ・行政や地域の企業に関わる機会が増加 → 表2の各事業
- ・地元企業と次年度以降の3年間の国際化推進事業を受託

- 【課題】**
- ・外国人住民の情報の不足
 - ・日本語学習支援者の不足
 - ・体制整備未着手
 - ・苫小牧市の方向性

人材の確保・育成

誰が担い、どのように行うのか

主な活動（表2）

時 期	内 容
2022年 8月～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度国際化推進事業計画、ボランティア体制整備等協議（苫小牧市） ・外国人に対するインタビュー調査の実施及び結果のまとめ（苫小牧市） ・令和4年文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」講師（室蘭・登別、伊達、苫小牧・白老の3会場の各1回全3回を担当） ・外国人相談対応（苫小牧市）
9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対するインタビュー調査の実施及び結果のまとめ（苫小牧市） ・外国人雇用企業ヒアリング調査（苫小牧市）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語講座開催（凡人社共催・外部講師：岩田一成氏） ・定住自立圏共生ビジョン懇談会委員会における多文化共生関連事業の報告（白老町・厚真町・安平町・むかわ町） ・倶知安町多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業参加（北海道）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生キーパーソン研修（北海道国際交流協力・総合センター） ・地方創生カレッジ in 小樽「デジタル田園都市国家構想を軸に新たな北の商都『小樽』を考える」参加
2023年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧市多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業実施協力（北海道） ・北海道地域日本語教育研究会シンポジウムの運営（北海道大学）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の自治体に対するヒアリング ・多文化共生関連講義（道内外の大学） ・学会発表、研究会参加、論文執筆など

主な活動 (表2)

時 期	内 容
2022年 8月～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度国際化推進事業計画、ボランティア体制整備等協議 (苫小牧市) ・外国人に対するインタビュー調査の実施及び結果のまとめ (苫小牧市) ・令和4年文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」講師 (室蘭・登別、伊達、苫小牧・白老の3会場の各1回全3回を担当) ・外国人相談対応 (苫小牧市)
9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対するインタビュー ・外国人雇用企業ヒアリング
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語講座開催 ・定住自立圏共生ビジョン懇話会 (白老町・厚真町・安平町・) ・倶知安町多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業参加 (北海道)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生キーパーソン研修 (北海道国際交流協力・総合センター) ・地方創生カレッジ in 小樽「デジタル田園都市国家構想を軸に新たな北の商都『小樽』を考える」参加
2023年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧市多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業実施協力 (北海道) ・北海道地域日本語教育研究会シンポジウムの運営 (北海道大学)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の自治体に対するヒアリング ・多文化共生関連講義 (道内外の大学) ・学会発表、研究会参加、論文執筆など

・地域日本語教育に関わりたい住民
 ・他地域の日本語教育ボランティア
 ・外国人雇用企業 (雇用検討企業)

主な活動 (表2)

時 期	内 容
2022年 8月～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度国際化推進事業計画、ボランティア体制整備等協議 (苫小牧市) ・外国人に対するインタビュー調査の実施及び結果のまとめ (苫小牧市) ・令和4年文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」講師 (室蘭・登別、伊達、苫小牧・白老の3会場の各1回全3回を担当) ・外国人相談対応 (苫小牧市)
9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対するインタビュー調査の実施及び結果のまとめ (苫小牧市) ・外国人雇用企業ヒアリング調査 (苫小牧市)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語講座開催 (凡人社共催・外部講師：岩田一成氏) ・定住自立圏共生ビジョン懇談会委員会における多文化共生関連事業の報告 (白老町・厚真町・安平町・むかわ町) ・倶知安町多文化共生推進事業 (道)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生キ... ・地方創生カレ... 『小樽』を考える」参...
2023年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苫小牧市多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業実施協力 (北海道) ・北海道地域日本語教育研究会シンポジウムの運営 (北海道大学)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の自治体に対するヒアリング ・多文化共生関連講義 (道内外の大学) ・学会発表、研究会参加、論文執筆など

・行政向け講座とワークショップの実施
 ・やさしい日本語や多言語対応の必要性

主な活動 (表2)

専門家

時 期	内 容
2022年 8月～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度国際化推進事業計画、ボランティア体制整備等協議 (苫小牧市) ・外国人に対するインタビュー調査の実施及び結果のまとめ (苫小牧市) ・令和4年文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」講師 (室蘭・登別、伊達、苫小牧・白老の3会場の各1回全3回を担当) ・外国人相談対応 (苫小牧市)
9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対するインタビュー調査の実施及び結果のまとめ (苫小牧市) ・外国人雇用企業ヒアリング調査 (苫小牧市)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語講座開催 (凡人社共催・外部講師：岩田一成氏) ・定住自立圏共生ビジョン懇談会委員会における多文化共生推進協議会 (白老町・厚真町・安平町・むかわ町) ・倶知安町多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業実施協力 (北海道)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生キーパーソン研修 (北海道国際交流協力・総合センター) ・地方創生カレッジ in 小樽「デジタル田園都市国家構想を軸に新たな北の商都『小樽』を考える」参加
2023年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧市多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業実施協力 (北海道) ・北海道地域日本語教育研究会シンポジウムの運営 (北海道大学)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の自治体に対するヒアリング ・多文化共生関連講義 (道内外の大学) ・学会発表、研究会参加、論文執筆など

・ 専門家との連携
・ 情報発信

・ 専門家との連携
・ 情報発信

主な活動 (表2)

苫小牧市

時 期	内 容
2022年 8月～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度国際化推進事業計画、ボランティア体制整備等協議 (苫小牧市) ・外国人に対するインタビュー調査の実施及び結果のまとめ (苫小牧市)
9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対するインタビュー調査の実施及び結果のまとめ (苫小牧市) ・外国人雇用企業ヒアリング調査 (苫小牧市)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語講座開催 (苫小牧市) ・定住自立圏共生ビジネス推進協議会 (白老町・厚真町・安部町) ・倶知安町多文化共生推進協議会 (倶知安町)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生キーパーソン研修 (北海道国際交流協力・総合センター) ・地方創生カレッジ in 小樽「デジタル田園都市国家構想を軸に新たな北の商都『小樽』を考える」参加
2023年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧市多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業実施協力 (北海道) ・北海道地域日本語教育研究会シンポジウムの運営 (北海道大学)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の自治体に対するヒアリング ・多文化共生関連講義 (道内外の大学) ・学会発表、研究会参加、論文執筆など

・次年度以降の事業計画
・体制整備の議論

中間報告
地域在住の外国人

・外国人雇用企業の困りごと
・外国人に対する日本人従業員の課題

[実践を通して「行ったこと」「考えたこと」の変遷]

2022年度 国際化推進事業の一部を実施（表2）

- ・ 例年数回実施されていたが、各事業は単体で完結
- ・ 全体としての方向性が定まっていなかった

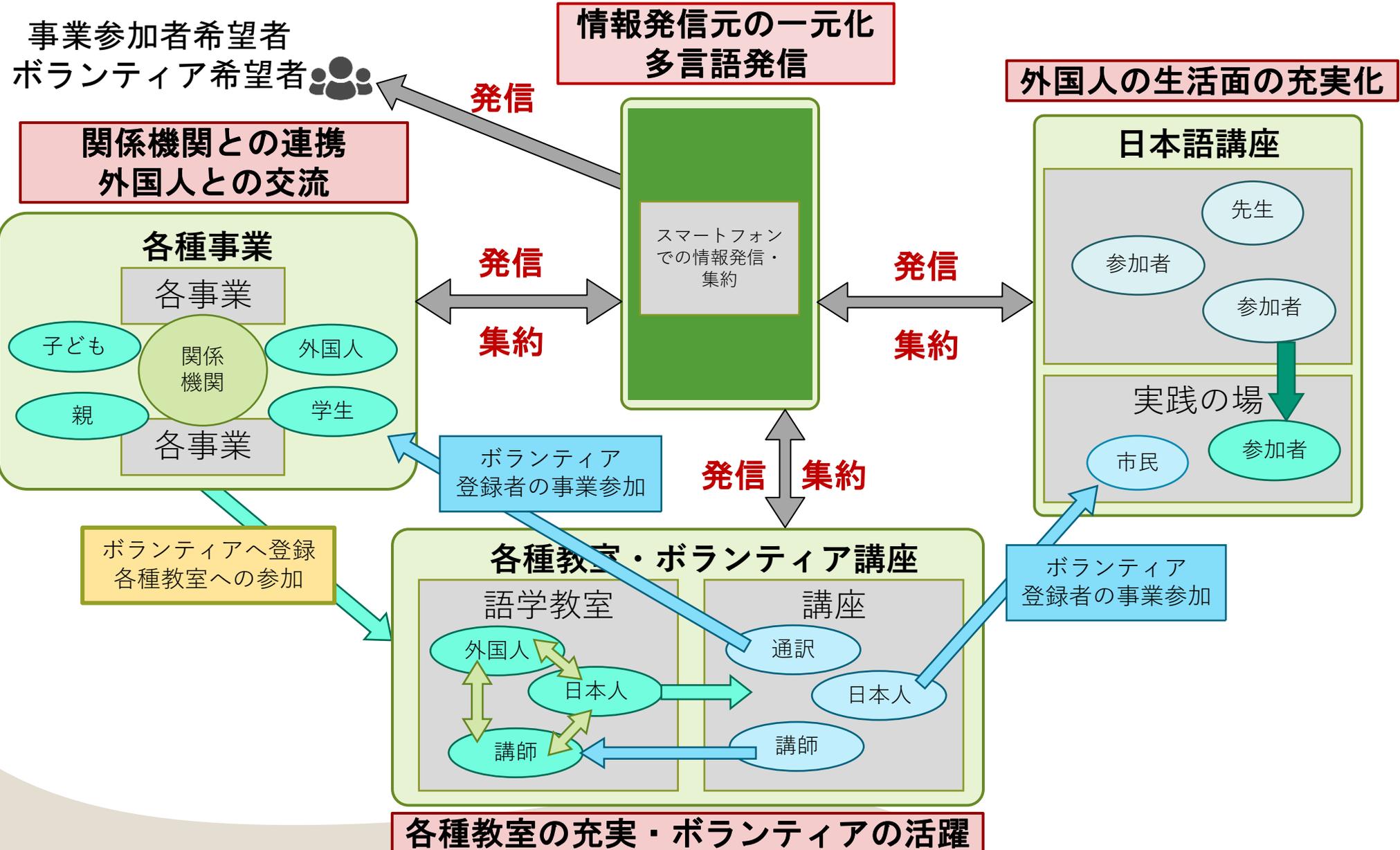
【課題】

- ・ 支援を必要としている外国人、支援をしたいと日本人のマッチング
- ・ 地域の活動や外国人との協働活動に関われる人材確保や育成
- ・ 地域活動に向けた体制の構築

2023年度以降について行政と協議

- ・ 次年度から3年間の方向づけ
- ・ 多文化共生推進に必要な人材、体制整備
- ・ ボランティアの体制整備に着手
- ・ 全体をコーディネート

令和5年度以降の国際化推進事業（協議中）



[地域日本語教育コーディネーターとしての視点と課題]

【視点】

- ・ 専門性
- ・ 専門家や他のコーディネーターとの連携の必要性
- ・ 深い議論できる場
- ・ 活動に関わる人の巻き込み
- ・ ネットワーク構築が進む仕組み作り

【課題】

- ・ 日本語学校の校長業務との両立
- ・ 人手不足